

# 「ホワイト物流」推進運動

## 持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
株式会社日通総合研究所	代表取締役社長	青山 陽一	東京都	学術研究、専門・技術サービス業	<a href="https://www.nittsu-soken.co.jp/">https://www.nittsu-soken.co.jp/</a>

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新:	2019年8月1日
-------	-----------

### (取組方針)

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組めます。

### (法令遵守への配慮)

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

### (契約内容の明確化・遵守)

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号	取組項目	取組内容
1	A ①	物流の改善提案と協力	・取引先や物流事業者から、配達や集荷時間の調整、付帯作業等の合理化等について要請があった場合は、真摯に協議に応じるとともに、改善に向けた調査・コンサルティングの依頼を受けた際には、積極的に提案します。
2	A ②	予約受付システムの導入	・入出庫時における作業効率化や荷待ち時間の短縮等の改善を要するコンサルティング案件に対処する場合には、改善策の一つとして予約受付システムの活用が考えられるときは、提案に織り込むことを検討します。
3	A ③	パレットの活用	・入出庫や庫内作業の効率化を要するコンサル案件に対処する場合には、パレット・カゴ台車・通い箱等の活用が入出庫時等の荷役作業時間の削減に有効な場合は、改善策としてパレット等の活用を提案に織り込むことを検討します。
4	F ①	物流の現場改善のサポート	・国内及びグローバル規模での最適な物流システムの改善・構築や、物流現場における課題の検証、改善策の提案、実行等へのサポート・コンサルティングに取り組めます。
5	F ②	「ホワイト物流」の推進必要性の啓発	・製造業や、卸売業、小売業等広く産業界に向け「ホワイト物流」の推進の必要性を、また物流事業者に向け現場の見える化や産業界への積極的な提案の必要性や取り組み方等について、情報発信・情報提供します。
6	F ③	産官学連携の促進	・「ホワイト物流」推進に向け、産学官の情報交換や連携を促進するための取り組みを行います。
PR欄			・当社は、「流通革命」が叫ばれ始めた1961年に創立した、物流・ロジスティクスの「全て」に関わる総合シンクタンクです。物流・ロジスティクスの重要性と関心の高まりのなか、喫緊の課題である物流の持続的・安定的な確保に向け、お客様ニーズに合った調査・コンサルティング機能をこれまで以上に強化しております。物流現場の生産性向上・働き方改革等への取り組みにおいても、お気軽にお問い合わせ下さい。